

平成 28 年度第 3 回逗子市スポーツ推進審議会 議事録

- 日時 2017 年（平成 29 年）2 月 2 日（木）午前 10 時 20 分～11 時 5 分
- 場所 市役所 会議室
- 出席者 （敬称略、順不同）
山口 明（会長）、大河内誠（副会長）、村田祐子
- 欠席者 宮川光男、中川治彦
- 事務局 阿万野文化スポーツ課長、黒羽係長、鈴木主任
- 公開の有無 有
- 傍聴人の数 0 人
- 資料 事前配付資料
資料 1 平成 28 年度第 2 回逗子市スポーツ推進審議会議事録（案）
資料 2 平成 27 年度逗子市スポーツ推進計画評価調書（案）
当日配付資料
次第
名簿
- 記録 鈴木主任 2017 年（平成 29 年）2 月 6 日作成

開会

定数の確認、資料の確認

【議事】

議長（会長）

はじめに、前回の「平成 28 年度第 2 回逗子市スポーツ推進審議会議事録(案)」について、資料 1 をご覧ください。議事録(案)について修正等意見のある方は願います。

◇◇◇意見なし◇◇◇

議長（会長）

議事録を承認とする。

(1) 平成 27 年度逗子市スポーツ推進計画の評価調書について

議長（会長）

議題 1 の「平成 27 年度逗子市スポーツ推進計画の評価調書について」事務局から説明を願います。

事務局（係長）

説明の前に、これまでの流れをお話しする。

第1回の会議は6月に行い、評価調査の様式について審査をし、そこで決定した様式を基に、所管課で自己評価を記入しました。それを各委員に評価をしていただき、第2回の9月には各委員のご意見をまとめ、お互いの評価を共有したうえでさらに審議していただきました。

その審議の内容を踏まえ、事務局でまとめたものを今回作成しました。本日は、このまとめ(案)について修正、追加がないかどうかご意見をいただき、最終の審議会意見を作成しますので、4つの事業を順番に説明します。

資料2をご覧ください。まずは事業1「逗子市スポーツの祭典の開催」をご覧ください。2ページ目の一番下のところが審議会での意見まとめ(案)です。

『雨天のため11のイベントが中止になったことは残念だったが、延べ1,786名もの参加者を集めたことは、積極的な周知が図られたことに加えて、市民のスポーツや体力づくりへの関心を高めることにつながったと思われる。

特にイベントについては、逗子市スポーツ推進計画の基本目標である「健康づくり」「場づくり」「交流づくり」「基盤づくり」を意識した見直しを行い、本事業が「スポーツのきっかけづくり」「スポーツの継承の場」となるように取り組んだことは評価できる。子どもから高齢者まで、幅広い年齢層が楽しめるものとなった。また、障がいのある方と一緒に楽しめるイベントにも約100名もの参加があったことなど、参加しやすい内容に工夫したことは大いに評価できる。

今後も、新しいイベントや、雨天対応可能なイベントなどを含めて検討し、よりよいスポーツ機会の提供の場となることを期待したい。

28年度はオリンピックイヤーなので、市民のスポーツへの意識（スポーツをする、観る、支える）をより一層高め、東京2020オリンピック・パラリンピックにつなげていってほしい。』

と、このような内容でまとめました。

議長（会長）

「逗子市スポーツの祭典」の審議会の意見について、意見があればお願いします。

大河内委員

スポーツを楽しみたいという気運が高まったということで、雨天だったにも関わらず1,786名というこれだけの人数が来られたと思う。いい企画だったと感じる。

大河内委員

前年度は周知の方法に偏りがあったのではないですか。色々な形でなされたということの成果と思う。

議長（会長）

本日欠席の中川委員から意見をいただいている。事務局から願う。

事務局（鈴木）

中川委員から、『1行目の「・・・延べ1,768名もの参加者を集めた・・・」となっておりますが、周知され市民の意識が高まった結果のこととして「参加があった」もしくは「1,768

名が参加した」としてはいかがでしょうか。』というご意見をいただいている。

議長（会長）

中川委員の意見について、いかがか。

事務局（鈴木）

1,786名もの参加者を集めたとなっておりますが、周知され市民の意識が高まった結果のこととして「参加があった」もしくは「1,786名が参加した」としてはいかがかということです。

大河内委員

私は、原文のままが良いと思う。

村田委員

集めたことは、その周知活動を図った意識が高いような感じが出るような意味合いがあるのかなど。それぞれの会場でとった細かく出た結構まともな数字だと思います。

大河内委員

主題は開催であり、参加した人の評価ではなく、主催者側を評価するものである。主催者側の努力をどう評価のするのかというものであり、参加者や来場者の人数を評価するとしたら、周知をして参加を集めたということで、これで良いと思う。

村田委員

同意見である。

議長（会長）

中川委員の表現だと、「中止になったのは残念だが、延 1,786名の参加があった、参加した、積極的な周知が図られた」とした方がいいということか。

事務局（鈴木）

そのとおりです。

議長（会長）

事実を評価することだと思う。2つの意見があるが、原文のままとしてよいか。

◇◇◇異議なし◇◇◇

議長（会長）

次に「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」について、事務局から説明をお願いします。

事務局（係長）

2枚目の「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」をご覧ください。4ページです。

『情報化社会が急速に進む中、スポーツに関する各種情報についてもデータベース化は急務であるが、県「スポーツ指導者情報」や「小学生のためのスポーツ団体一覧」を市のホームページに公開できたことは、良い方法として評価できる。

スポーツ指導者（専門家）に関する情報提供については、「公的な資格を有する（もしくは備える）」ことを条件として、専門的な知識・技能を有し、地域で活躍する指導者の発掘

と情報発信・提供を行うとともに、市民にとって安全かつ安心してスポーツに取り組める環境の整備を推進することが必要である。「スポーツの祭典 2015」のイベントで、地元の専門家の講演会を開催したことは、市民のプロスポーツへの意識の向上につながったと評価できる。

スポーツの推進や健康づくりに関する相談対応は、まだ利用者が少ないようなので、今後の課題として、告知方法の見直しや、工夫するなどして、有効な情報を的確に提供できる体制の充実が必要である。

スポーツに関する情報提供は、地道に継続することが大切である。他の市町村との情報交換等を通し、参考になるものがあれば検討するなどして、今後も取り組んでほしい。』

と、このような内容でまとめました。

議長（会長）

「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」の審議会の意見について、意見があればお願いする。

中川委員からの意見を事務局から願う。

事務局（鈴木）

『実施結果から順番に記載されていると思いますが、今回の評価と今後の対策が一緒になってしまっているのです、総括として次のようにされてはいかがでしょうか。』ということと2つご意見をいただいている。

1つ目は、『7行目終わり「「スポーツの祭典 2015」のイベントで・・・つながったと評価できる。」の部分は4行目に新しい行として挿入し、今年度の評価としてまとめる。』というご意見です。始めの3行が評価をしている文章であり、この7行目の文章も評価をしている文章であるため、評価をしている文章をまとめた方がいいのではないかと思います。

2つ目は、『その他は今後の対策としてまとめておく。』というご意見です。7行目からの文章を移動して残る4行目の文章と9行目の文章を、今後の対策について意見を述べた部分として一つにまとめてはいかがでしょうかというご意見です。

議長（会長）

中川委員の意見について、いかがか。

大河内委員

1行目の「情報化社会が急速に～」というところも、もうひとつ何か出していけばいい。例えば、「スポーツに関する各種情報についても」を「スポーツに関する各種情報については」にして、4行目の「評価できる。」をここに付けばいいのではないか。それで「また、スポーツ指導者に関する情報については～」が続けば、同じ評価する文章が続くので問題はないと思うが、いかがか。

1行目の「についても」を「ついては」にして、3行目の頭に「また、」を入れて「また、スポーツ指導者に関する情報～」とすれば、中川委員の評価はまとめた方がいいという意見を反映できるのではないか。

それとも3行目の「評価できる。」の次に7行目の「スポーツの祭典～」を入れて、4行目の「スポーツ指導者」が続く表現にした方がいいのではないか、という意見か。

事務局（鈴木）

そうです。

議長（会長）

大河内委員がおっしゃられたように、1行目の「ついても」では違和感がありますから、そこ自体を直した方がいいのではないかと思います。

大河内委員

先ほどの(案)として、『スポーツ指導者が～市民にとって安全かつ安心してスポーツに取り組める環境を提供することが必要であるが、』にして、『「スポーツの祭典 2015」のイベントで、地元の専門家の講演会を開催したことは、市民のプロスポーツへの関心の向上につながったと評価できる。』とした方が良いと思う。

4行目の始めに「また、」をつけて、「スポーツの祭典 2015」の前を「必要であるが」にすれば、8行目まで文章がつながる。そうすれば、1行目から8行目までは評価に繋がることになるが、いかがか。

事務局（係長）

分けないでまとめるということですね。

議長（会長）

他にはないか。

◇◇◇異議なし◇◇◇

議長（会長）

内容が変わるわけではないので、表現の仕方をより分かりやすくという意味で、そのように願います。

次に「小・中学校拠点とした子どもの健康・体力づくり」について事務局から説明をお願いします。

事務局（係長）

6ページの下のところ、

『子どもの健康づくりは、少子化の時代には重要な課題である。近年、子ども会離れや、子どもの居場所や活動場所が限定され、子どものニーズにあった運動機会に恵まれていないことが多い。特に小学校の低学年から運動を積極的に行う子どもと、機会の少ない子どもの2極化が始まっている。また、幼少期からスポーツに親しむことの重要性が言われる中で、「小学生のためのスポーツ団体一覧」を公開、配布し、子どもたちに体を動かす機会や新たな交流の場の情報提供ができたことは評価できる。各団体へのホームページへのリンクや、写真を掲載するなどして、より活動の様子が分かるものになれば良い。

今後は、スポーツ団体への支援として、学校体育施設等の有効利用を拡大することや、放課後児童クラブ等との連携を推進し、子どものスポーツ実施機会のさらなる普及・定着化につなげるなどを検討されたい。また連携の推進に当たって指導者派遣が必要な場合は、指導者の発掘、選定、派遣の仕組みが十分整備されることが必要である。』

と、このような内容でまとめました。

議長（会長）

「小・中学校拠点とした子どもの健康・体力づくり」についての審議会の意見について、意見があればお願いします。

中川委員から意見がある。事務局から願う。

事務局（鈴木）

『(1) 4行目後半からの「また、幼少期からの・・・7行目・・・なれば良い」までは27年度の評価できる点と要望として、まとめ案の最初に記載する。（「また、」は取る）

(2) その次に2行目からの「子どもの健康づくりは・・・」を現状と今後の課題としての説明とするのはいかがでしょうか。』

4行目の最後にある『幼少期からスポーツに親しむことの重要性が言われる中で、「小学生のためのスポーツ団体一覧」を公開、配布し、子どもたちに体を動かす機会や新たな交流の場の情報提供ができたことは評価できる。各団体へのホームページへのリンクや、写真を掲載するなどして、より活動の様子が分かるものになれば良い。』という文章を一番最初に移してくださいということです。そうすることで、評価している文章がまとめ、次は現状を述べて、その後に課題とまとめられます。評価・現状・課題という順の書き方になるのではないかというご意見です。

議長（会長）

中川委員の意見について、いかがか。

大河内委員

評価・現状・これからの展望となるので良いと思う。

評価をCにしているため、最初の部分を強調したいということがある。

議長（会長）

中身が変わるわけではないですが、これが報告として読まれたときにどちらがすっきりとしているか。

大河内委員

文章に手を加え過ぎると、本来の雰囲気が変わってしまう。

議長（会長）

中川委員の案について、もう一度説明を願う。

事務局（鈴木）

4行目の『幼少期からスポーツに親しむ重要性～』から7行目の『より活動の様子がわかるものになれば良い。』というところまでを一番最初にし、後に、現状と課題を表す文章が続く表現の仕方の方がよいのではないかというものです。

議長（会長）

いかがか。

大河内委員

1行目の『子どもの健康づくり』の後に「体力づくり」を入れないといけない。「小・中学校拠点とした子どもの健康・体力づくり」ということだから、ここに「・体力づくり」を入れないと、事業名と同じにならない。そうすると文章が通る。

議長（会長）

よりはっきりしたと思うが、いかがか。

大河内委員

少子化の時代は重要な課題であるが、その課題に十分に対応できていない現状がある。ただし評価するものはあるということで、否定するのではなく、展望が見えるのであると考える。

議長（会長）

もう一度、確認のため意見を願う。

大河内委員

子どもの健康・体力づくりということを事業名に合わせて「・体力づくり」を加える。

議長（会長）

よろしいか。

◇◇◇異議なし◇◇◇

つづいて、『うみかぜクラブ』の活動の充実』について事務局から説明をお願いする。

事務局（係長）

8ページの下のところをご覧ください。

『総合型地域スポーツクラブ「うみかぜクラブ」は、地域におけるスポーツ活動の推進に大きく寄与し、順調に活動しているものと見受けられ、特に、高齢者や障がいのある方のスポーツ推進や健康増進につながる教室には参加者も多く、広い世代の運動習慣の定着化として実績を築いており、市のアピールポイントの一つにもなり得るものと思われる。

今後も、より広い世代を対象に、様々な広報ツールを利用した情報提供を積極的に行い、地域のスポーツ推進の原動力となるよう期待したい。』

と、このような内容でまとめました。

議長（会長）

『うみかぜクラブ』の活動の充実』についての審議会の意見について、意見があればお願いします。

大河内委員

1行目から3行目まで長いので、区切ったらいかがか。「順調に活動している」と見受けられる。」で切ったほうがよい。その中でもという意味で、「特に」から続くと1行目から2行目までの全般の説明がつながる。

議長（会長）

いかがか。

村田委員

よいと思う。

議長（会長）

読みやすくなったと思う。中川委員から意見がある。事務局から願う。

事務局（鈴木）

『今回の評価は、順調な活動状況でまとまったと思われませんが、「クラブの自立化に向けての検討を継続しながら」という文言が抜けていたように感じました。これは30年まで継続するようですので、問題ないかと思われませんが、審議会の意見としては「検討の継続」を入れておいたほうが良かったのではと感じました。』

と、いう意見です。

議長（会長）

「今後も」の部分に入れておくということか。

事務局（鈴木）

具体的にどこに入れたらいいかということとは分かりません。

大河内委員

自立ということですか。

事務局（文化スポーツ課長）

所管課による自己評価の中に「クラブの自立化」を協議するとあります。逗子市スポーツ推進計画の中での、中・長期的な目標の中で今後の自立と安定を図ることが課題とある。

大河内委員

「今後」はで区切り、「逗子市体育協会からの連携を」入れるのか。「今後はクラブの自立化に向けた取り組みについて協議しながら、より広い世代を対象に、様々な広報ツールを利用した情報提供を積極的に行い、地域のスポーツ推進の原動力となるように期待したい。」とすると、所管課の自己評価にある自立化の中に逗子市体育協会のことが書かれているので、審議会の意見として、あえて逗子市体育協会を入れなくても、今後、自立化に向けた取り組みを協議してしていくことになると思う。

議長（会長）

いかがか。今の意見よろしいか。

大河内委員

であれば両方いきますね。

議長（会長）

他に意見はないか。

◇◇◇異議なし◇◇◇

議長（会長）

それでは、今日の審議会の意見をまとめ、再度送っていただきたい。

事務局（係長）

今後の最終確認まで、メール等でまとめたものを送ります。確認した後は2月の末頃に教育長への報告を考えている。

議長（会長）

それでは、議題(2)について事務局からお願いします。

事務局（文化スポーツ課長）

4月1日に機構改革が行われ、文化スポーツ課の学校体育施設開放事業が教育部の社会

教育課に一元化されることになる。また文化スポーツ課の執務室が、5階から2階の現在、経済観光課がある場所に変更することになる。

大河内委員

もともと学校開放事業は社会教育課にあった。

事務局（文化スポーツ課長）

もう1点は、審議会の委員の任期について、条例第6条1項に任期は2年と定められており、今年の3月31日で現在の任期が終了する。この2年間、委員各位には感謝申し上げます。

議長（会長）

以上で本日の議事は全て終了する。

以上